

令和7年度 第3回学校運営協議会
兼学校関係者評価委員会並びにコンプライアンス委員会 議事録
静岡県立富士宮北高等学校

1 日時 令和8年2月20日(金)午後2時30分から4時30分頃まで

2 場所 静岡県立富士宮北高等学校 小会議室

3 内容

(1) 開会(司会:副校長)

ア 校長挨拶

- ・ 学校運営の総括と次年度方針。
- ・ 年度末評価と来年度の教育課程変更方針を共有。
- ・ 高校入試の募集は厳しいが、部活動・学習の成果により充足見込み。
- ・ 富士宮・富士地区で自転車ヘルメットの全学年着用を来年度から徹底。法的には努力義務のため、強制ではなく声かけと安全啓発で文化醸成。

(2) 議事(司会:委員長)

ア コンプライアンス委員会(副校長)

- ・ コンプライアンス委員会より、体罰・セクハラ・重大交通事故なし。
- ・ 毎月の短時間研修が有効で、県内事例を用いた注意喚起を継続。

イ 学校関係者評価

(ア) 学校自己評価について(各分掌課長)

○生徒課

- ・ 服装・マナーは概ね良好だが、スカート規定違反や化粧増加が課題。
- ・ 交通安全は「10件以内」目標に対し増加。大事には至らず。来年度は交通安全指導等を活用し指導強化。ヘルメット着用を全学年へ周知。
- ・ いじめ・ネット中傷に大事案なし。予兆的事案には学校全体で対応。

○保健課

- ・ 相談満足度92.1%で目標達成。相談室・スクールカウンセラー中心の体制は機能。
- ・ 特別支援が必要な生徒の情報収集・共有に課題。中学校からの特性情報の受領にばらつきがあり、校内共有方法の整備が必要。

○教務課

- ・ 家庭学習時間目安: 普通科約130分、商業科約90分。習慣化の自己認識に乖離があり、調査の工夫と学習習慣の可視化が課題。

- ・ 授業の ICT 活用は目標達成(保護者 88.4%、教員 89.7%)。ロイロノート、パワーポイント等活用。生成 AI の授業活用を検討開始。

○図書研修課

- ・ 主体的・対話的で深い学びは生徒評価 92.3%で達成、職員評価は 88.4%と未達。授業相互参観が不足。
- ・ 探究学習は年次充実。グローバル視野の形成が改善、ローカル視野も向上。課題解決能力・プレゼンは定着し進路意識も 90%超。一方、社会課題への関心が低下傾向。
- ・ 具体事例として、科学的比較による野球選手の課題研究やアサギマダラ研究などの発表。
- ・ 探究の時間を核に、校外機会や英語交流を拡充してグローバル意識を育成。英語部中心のイングリッシュキャンプや ALT との交流を実施。

○商業科

- ・ ネパールの学生との Zoom 交流を 2 回実施。英語主体でファシリテーターが橋渡し。交流継続の意向。
- ・ 商業 1 年生が銀行拠点で木工・クラフト・陶芸体験。来年度は体験を踏まえ商品化検討へ。
- ・ 資格取得は概ね達成(2 級以上 95%、1 級 3 種目以上達成 22%)。未達生徒も交流活動で活躍。
- ・ 課題研究は健闘し対外発表も実施。外部講師(OB 弁理士・税理士・アナウンサー)が刺激となる一方、「伝える力」やテーマ設定に改善余地。

○進路課

- ・ 模試、学びの基礎診断、非認知能力測定など外部ツールを活用し多方面から指導。五教科九科目の完全達成者が少なく人数面で課題。
- ・ 社会情勢・入試科目の変化、企業動向に迅速対応し情報提供を強化。国公立進学者数 10~20 人規模を目安に模試での学力向上を指標化。

○生徒課

- ・ 部活動による人間性向上の自己評価が高く(+2.8、91.8%)。4 校連携による合同部活動を来年度開始予定。
- ・ 文科系活動では生徒間協働に感動的場面が多く肯定的に評価。
- ・ 生徒会中心のボランティア参加は目標超過。ランチミーティングは 7 回で評価良。マイコーデュニークの取り組みで、ルールづくりに主体的参画が進む。

○図書研修課

- ・ 図書館は読書研静岡で受賞。ブックフェア、ビブリアバトル、シークレットブック販売等で来館促進の兆し。

○総務課

- ・ 公式サイト年度の更新と情報発信は高評価(表示 21 万件、ユーザー 4.4 万人)。Instagram は投稿 751 件、フォロワー 1957。事前情報の SNS 発信強化で来訪増・受験意欲喚起に期待。
- ・ 教職員向けマンホールトイレ組立研修等を実施。新校舎に伴い避難経路再設定、1 年生の防災頭巾着用も良好。地域防災担当 50%以上は未達で来年度工夫。

○保課

- ・ 感染症対策は消毒設置率 100%達成も、インフル流行で学級・学年閉鎖が発生。生活習慣定着の指導が次年度課題。
- ・ 清掃評価は目標未達(C 評価)。用具更新や雨吹き込み対応など設備課題を改善。委員会活用や生徒点検導入で目標達成を目指す。

○事務部

- ・ 事務・施設は会計検査・監査で指摘なし。定期点検は多忙で回数不足、報告ベースで修繕に迅速対応。

○管理職

- ・ 県目標「時間外-5%」達成は困難で、今年は-0.33%。20 時退庁ガイドライン導入で一定改善も、継続的運用・業務見直しが必要。

○学年部報告

- ・ 2 年部は特別支援生徒への対応を生徒会・保健課・各教員で連携して進行。授業・総合学習・修学旅行等で成長。3 年進級に向け進路活動を強化。
- ・ 3 年部は卒業に向け個別支援を継続。

(イ)「行きたい学校づくり」推進事業アンケート結果(副校長)

- ・ 資料どおり

(ウ)部活動の活躍(教頭)

- ・ 部活動成果として、バレー部の大会連続優勝、写真部入選継続、ビジネス部成果、自転車競技で女子が養成所合格(県内唯一)など。

(エ)自己評価等についての質疑応答及び意見交換

●校地整備と安全管理

- ・ 校地整備作業で滑落負傷事例あり。危険箇所の事前周知不足と防護装備未着用が課題。来年度は安全装備着用のルール明文化と当日ブリーフィング強化。

●SNS 運用と情報発信

- ・ 週末予定・大会情報・公演情報などの事前発信を強化する提案。フォロワー拡大と

来訪者増、学校イメージ向上、受験意欲喚起を狙う。

●私服・制服運用(マイコーデ)

- ・ 期間限定・選択制で継続。私服購入は不要である旨の周知強化。家計配慮と制服着用機会の確保に留意。生徒の自己判断機会として意義あり。

ウ 次年度学校運営計画(案)について

(ア)学校経営計画(案)とグラウンドデザインについて(校長)

- ・ グラウンドデザイン案提示。育成する力を5色で可視化した。
- ・ 最高目標は「社会に愛される18歳」。
- ・ スクールポリシーはアドミッション・カリキュラム・グラデュエーションの3ポリシーを中核に整理。マイコーデ導入で主体性育成を反映。部活動を具現化要素として明記。
- ・ 「育成する5つの力」は教員の抽出を生成AIで統合し策定。教育活動・部活動で自然に涵養し、過度な形式主義は避ける。
- ・ カリキュラムポリシーは地域貢献人材育成を明記し、「グローカルリーダー」「エッセンシャルワーカー」の資質を目指す表現を追加。生成AIなど社会変化を踏まえ生活に近い領域で働ける人材を重視。
- ・ 計画案は学校運営協議会として承認。13ページは外部提出、14ページ以降は次年度初めに達成方法・成果指標を再検討。
- ・ コミュニティスクールは拡大を希望(大学生、将来的に高校生の参加)。外部向けブランドデザイン簡易版の作成を検討。

(イ) 次年度学校運営計画(案)について質疑応答

(3) 閉会(司会:副校長)